

競 技 注 意 事 項

- 1 規 則
- ①本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
 - ②本大会では、スタートを電子音で行う。日本陸上競技連盟競技規則 TR16.7により、音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
 - ③シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは、日本陸上競技連盟規則 TR5.2～TR5.6により20mm以内とする。規定外のシューズを使用しての競技参加は認めない。
- 2 練 習
- ①ウォームアップは、第2陸上競技場の下記の時間及びエリアで行う。練習は役員の指示に従って行い、事故防止に努める。また、使用した器具は使用した競技者が元の場所に返却すること。
【11月16日】
8:00 ～ 9:45 → 全面練習可
【17日】
8:00 ～ 9:40 → 全面練習可
1500m 競技中 → 3～4コーナーの指定されたエリア
 - ②投てき種目の練習は、招集完了後に行う。役員の指示以外による練習は、危険防止のため一切禁止する。
 - ③大会参加者以外は、第2陸上競技場での練習は禁止とする。
 - ④開門時刻は7時30分・練習開始時刻は8時00分とする。
 - ⑤陸上競技場は改修工事のために使用できない。
- 3 招 集
- ①招集所は第2陸上競技場の用器具庫内に設ける。
 - ②招集開始時刻及び招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし下記のとおりとする。
- | 種 目 | 招集 (〇印チェック) 開始 | 招集 (〇印チェック) 完了 |
|--------|----------------|----------------|
| トラック種目 | 30分前 | 20分前 |
| 三段跳 | 60分前 | 50分前 |
| 棒高跳 | 現地90分前 | 現地70分前 |
| 投てき種目 | 60分前 | 50分前 |
- ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
 - ④競技者は、招集開始時刻から完了時刻までに、スタートリストの自分の氏名に〇をつける。
 - ⑤招集完了後、トラック競技の選手は出発係の指示に従い現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は担当審判員の指示に従い現地で点呼を受ける。
 - ⑥2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに所定の用紙を招集所に提出する。
 - ⑦出場する種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに棄権届を招集所に提出する。

4 入退場

- ①第2陸上競技場には陸上競技場側ゲート、体育館側ゲートから入退場する。
- ②トラック競技終了後の退場は、荷物を回収しそのまま入場した場所より速やかに退場する。荷物の回収のためスタート地点戻る際は、本部裏またはバックストレートを通りしその後退場する。
- ④フィールド競技は競技終了後、競技役員の指示従い入場した場所より速やかに退場する。

5 アスリートビブス

- ①アスリートビブスは胸と背にしわにならないようにのばして四隅を結着し、切ったり、曲げてはいけない。ただし、跳躍競技については1枚を胸または背につけるだけでもよい。また、トラック種目は腰ナンバーカードを右腰後方につける。
- ②大学生・一般については今年度、千葉陸上競技協会から配付されたアスリートビブスを使用する。その他の者は、当日に配布する。
- ③高校生は2024年度高体連登録のものを使用する。

6 走高跳、棒高跳におけるバーのあげ方は次のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	
男子棒高跳	3.30	3.50	3.70	3.90	4.10	以降 10cm
女子棒高跳	2.10	2.30	2.50	2.70	以降 10cm	

天候等により、審判長の指示で最初の高さを変更することがある。

7 競技からの除外

競技運営上必要と認めた場合は、トラック競技においてすべての競技者が競技を終了していない時点でも審判長が競技を打ち切ることがある。

8 用器具 競技に使用する用器具は競技場備えつけのものを使用する。

9 抗議 日本陸上競技連盟、競技規則 TR 8による。

10 競技場に商品名のついた衣類・バックを持ちこむ場合について

- ①上半身の衣類 製造会社/ロゴ：1ヶ所・40cm²まで文字高さ5cm以内
学校名/ロゴ 大きさ制限なしで前後に1つつまで。
- ②下半身の衣類 製造会社/ロゴ：1ヶ所・40cm²まで文字高さ5cm以内
学校名/ロゴ 大きさ制限なしで1つつまで。
- ③バッグ・タオル（ブランケット含む）
製造会社/ロゴ：1個・最大40cm²まで文字高さ5cm以内
- ④ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1つつ）
製造会社/ロゴ：1個・最大6cm²まで文字高さ3cm以内

11 開門・場所取りについて

①第2陸上競技場

バックストレート側の樹木の下の場所取りとテント設置は許可する。ただし、各チーム1ヶ所とする。

7時00分に体育館側ゲート外で各チームの代表者1名が並ぶ。7時15分に同ゲートから各チーム代表者2名がシートを持参して入場し場所を確保して退場する。7時30分に陸上競技場側、体育館側の2か所を開門する。

②その他のテント設置可能箇所

16号側緑地帯、モノレール下、体育館横の石畳とする。体育館の軒下の場所取りは禁止する。

③陸上競技場1階の軒下の場所取りは許可するが、バリケード内は禁止する。

④その他

- ・各チームの控え場所（テント設置）は1カ所限定とする。
- ・樹木等にロープを巻き付ける等の行為がないようにする。
- ・宿泊研修所1階のトイレを使用しても良い。

12 その他

①横断幕・のぼり旗の設置は禁止する。

②各チームの荷物はすべて毎日持ち帰ること。競技場内保管は認めない。但し、第2陸上競技場のテントの骨組みは、置いても良い。

③スマートフォン・携帯電話・トランシーバー・ビデオカメラ・音楽再生機器等、競技場内に持ち込むことはできない。

④競技場内での日傘の使用はできない。但し、天候に応じて傘の使用は認める。

⑤園路での集団走は禁止する。

⑥プログラムの記載内容の訂正は早めに TIC へ届け出る。

⑦セパレートレーンを使用する競技においては、フィニッシュ後は決められたレーンに沿って走り抜ける。

⑧控所、洗面所、競技場内外の清掃・整頓につとめる。

⑨ホームストレート側本部席前からフィニッシュライン後方アナウンス席前付近のアウトフィールド部分の通行を禁止する。

⑩ゴミは各自で責任を持って持ち帰る。

⑪貴重品等の管理は各自で行い、紛失盗難等には十分に注意する。

⑫競技中に発生した事故などについては、応急措置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。